

運營業務委託保護者説明会議事要約

【日 時】平成 28 年 8 月 18 日 19 時 30 分～21 時 30 分

【場 所】山一留守家庭児童育成室

【参加者】川下地域教育部長、木戸地域教育部次長、脇谷放課後子ども育成課長、植村同参事、日比同主査、小畑同主任(書記)

【吹田市より配布書類説明】

(保護者)

資料をしっかりと読み込めていないので、わかっていないのですが、どのように業者を選ぶのですか。

(吹田市)

事業者の選定については、一般的によく見られる、入札方式による選定ではなく、プロポーザル（提案）方式による選定を行います。プロポーザル方式とは、事業者から「こういった保育をしていく」といった事業計画や、財務諸表等の資料を提出してもらい、その提出された書類の審査や、事業者によるプレゼンテーションを実施し、より熱意があり、信頼のおける事業者を選定していくというものです。

(保護者)

最低限、これは守ってほしいというような要望はできるのですか。

(吹田市)

要望については、昨年度も色々といただいております。それらの要望については、1つひとつ検討を行い、取り入れることができるものについては、仕様書等に反映をさせていただきます。1つの例として、審査において、必要最低得点を設けるということがありました。当初、各項目の平均が 60 点以上でなければならないという、最低ラインは設けていました。事業者の理念や保育計画、指導員配置等、10 程度の項目について、それぞれ、5 段階評価を行い、平均点が 60 点以上でなければならないとしていました。しかしながら、説明会の中でご意見をいただき、平均点だけでなく、各項目において、審査員のうち一人でも、1 項目でも、最低点があれば、その事業所は選定しないこととするという、より厳しい内容としました。

(保護者)

例えば、プロポーザルにおいて、その基準を満たす事業者が無い場合は、そのまま直営

を続行となるのですか。

(吹田市)

その場合、平成 29 年度については直営のままとなります。

(吹田市)

こういうことをしてほしいというような、具体的な希望がありましたら、お聞かせいただきたいと思います。どこまでできるかわかりませんが、仕様書に入れ込むことも出来ますので、そういった意見も聞かせていただければと思っています。

(保護者)

その審査には参加することは出来ないのですか。

(吹田市)

今のところは考えていません。

(保護者)

昨年度、色々なプリントが市から出されました。質疑応答形式の資料もあったので、今の 2・3 年生については、ある程度、経過を知っていると思います。けれども、今の 1 年生については、これだけのプリントでは不十分であると思います。昨年度の資料には、選定の仕方等も詳しく書いていました。よって、もう一度、昨年度の資料は市から送ってくるべきであると思います。

また、アンケートについてですが、千里丘北のアンケートではなく、今年度から委託を開始した、山三・青山台について、どのような状況になっているのかを知りたいです。千里丘北については、最初から委託なので、これで当たり前と思った人の意見。ではなく、今まで市がやって民間委託になってどういう変化があったかを聞きたい。

(吹田市)

申し訳ありませんが、本日は昨年度の資料は持ってきていません。

本日の説明会では、育成室の民間委託について、市の考え方を示し、保護者の皆様の意見をできるだけたくさん聞かせていただきたいと思います。皆様からいただいたご意見については、今年度の公募のための新しい仕様書にできる限り反映させていきたいと考えています。本日はそういった趣旨の説明会であり、昨年度の資料は持ち合わせていませんでした。次回の説明会では、今回の意見を反映させた仕様書案をお持ちするとともに、前年度の資料もお渡ししたいと思います。

(保護者)

去年は、そのような対応が遅いということでしたよね。去年は 8 月から始めるのは、遅いのではないかとこのことに、市からは、確かに、遅かったかもしれませんという話をしていたと思います。それなのに、今年も、また 8 月から始めるというやり方はどうかと思います。また、去年の資料があるのであれば、それを今年の資料に載せて去年の経過を説明してもらいたい。

(吹田市)

昨年度の方は、現在もホームページにそのまま載っています。また、同じ資料になってしましますが、次回にお持ちするようにします。

(保護者)

昨年度は質疑応答のようなもので多くの枚数となっていたものがあったと思います。今年については、質疑応答の内容の提示はないのですか。

(吹田市)

このような意見は、今回はじめていただきました。昨年度のものとは別に、今年のものも作成しないといけないと考えていますが、今のところ未定です。昨年度の方であれば、お持ちすることは可能です。

(保護者)

1 年生の方にわかるようにしてもらいたいです。

(吹田市)

かなりの枚数になりますので、1 年生の保護者のみお渡しするようにしていきたいです。

(吹田市)

昨年度の説明会開始の時期については、9 月に入ってからでした。よって、今年度は、昨年度より 1 か月ほど早くなっています。昨年度よりは、多少早く対応出来ていると考えています。また、アンケートの集計結果についてですが、今回は千里丘北の分だけでしたが、青山台・山三のアンケートについても、次回の説明会にはお持ちするようになりたいと思います。

(保護者)

次回の説明会も含めた、今後の話し合いのスケジュールを教えてください。

(吹田市)

説明会が本日で終わるので、2回目は9月下旬を目処に行う予定です。

(保護者)

来年度、事業者が決まれば指導員は総入れ替えになるのですか。1年生の方に詳しく説明をお願いします。

(吹田市)

民間委託となれば、4月からは指導員が全員変わることについては、保護者にとって不安が強いということは理解しているつもりです。そのために、十分に引継ぎ保育をやっていきたいと考えています。本来、業務の引継ぎというものは、仕様書にも書いてあるとおり、事業者の負担でやってもらうものと考えていました。しかし、それでは、市がコントロールできなくなり、十分な引継ぎが行われないことも考えられたため、引継ぎ業務だけ予算をつけて実施するようにしています。市は、お金も出しますが口も出しますということです。事業者がこれでいいだろうと、安易に考えると困るので、市としても、引継ぎの内容はしっかりと確認していき、十分であるとの判断ができるところまでやってもらいます。

(保護者)

引継ぎをきっちりするというのは、今年度からなのですか。

(吹田市)

今年度より、山三・青山台が業務委託になっていますが、その時も、懇談会を重ね、保護者の皆様と事業者、市が意見を交換しながら、引継ぎを進めていきました。

(保護者)

山三・青山台はきっちり引継ぎが行われ、4月からの円滑なスタートはできたのですか。

(吹田市)

きっちり円滑に移行できたと考えています。

(保護者)

そうですか。3月中旬ぐらいと思うのですが、市と保護者の最後の懇談会（吹田学童保育連絡協議会と市との懇談会のこと）があったので参加したが、その時、青山台の保護者が、ものすごく腹を立てていましたよね。3月中旬の時点で引継ぎが行われていないとか、こちらからの要望を出しても全く聞いてもらえてないとか、そういう声をその時に市に対して

言っていたと思いますが。

(吹田市)

引継ぎ保育として、3月2日から主任指導員等が育成室に入っていました。

(保護者)

しかし、保護者の声が全く届かない、満足な引継ぎがされていないということを保護者が感じて、不満を漏らしておられたのは事実ですよ。

(吹田市)

その方については、説明会の段階から、とても反対されていたので、色々なご意見をいただいていた。確かに、引継ぎ保育については、3月の後半が中心でした。ただし、日程については、当時配属されていた直営の指導員と協議をして決めていました。3月は学年の最後の月なので、色々取り組みがあります。そういった中に、毎日、引継ぎ保育として育成室に入ってしまうと、卒室式等の取り組みに影響が出てしまう場合が考えられました。その時の児童の取り組みのことを大切にしていました。それらの結果として、3月後半の1日保育時が引継ぎ保育の中心となったということです。しかしながら、日数・時期については少し物足りないというお話をいただいたこともありました。

(保護者)

そういう経過も見てはいるけども、今年も3月しか引継ぎ期間を設けないということですか。3月が行事などでバタバタしており、それを優先するために満足な引継ぎが出来ないと保護者が感じています。今年はスケジュールを早めます、引継ぎを十分に行うことができるようにしますと言われていたと思いますが、それでも3月にしか引継ぎ期間は設けられないのですか。

(吹田市)

引継ぎ保育については、私も担当として一緒に保育室に入っています。山三も青山台も一緒に保育室に入り様子を見ていました。また、保護者の方とも、たくさん話をさせていただきました。さらに、1学期の学級懇談会も山三・青山台ともに参加しています。それらの場で、保護者の方のご意見を聞いておりますが、引継ぎ保育について、不十分であったのではないかとといったご意見は聞いていません。したがって、今年度についても、引継ぎ保育については、今の同程度のものとして説明をしているところです。

(保護者)

青山台は民間委託となったので、育成室を退室した方が多くいたと聞いています。そう

いったことと関係はあるのですか。

(吹田市)

青山台育成室が昨年度より人数が少なくなっていることについては、詳しく話すことはできないのですが、別の理由があります。まず、先ほど登場した、引継ぎが十分できていないのではないかと言われていた方については、民間委託ということに関して、非常に否定的であったので、最終的に利用はされないという判断をされました。また、現在、非常に対応が難しい保護者の方がおまして、その方の対応については、育成室だけでなく、学校も大変苦慮しているところです。その方との接触を出来るだけ避けたいとの思いがあり、育成室を退室したのではないかと考えています。

(保護者)

先ほど、保育水準は仕様書に記載があるので大丈夫という説明でしたが、実際のプロポーサルでは、青山台と山三の業者ではずいぶん点数に開きがあります。それでも同じ保育の質が保障され、その結果として、保護者の皆さんが満足されているのですか。

(保護者)

最低限、今のレベル水準をしっかりと守ってもらいたいです。私の考えではありますが、委託を開始した最初の時期の方が、色々な事業者が応募してくるので、レベルの高いところに決まっていくのではと思っています。その後は、だんだんと事業者のレベルが下がっていくような気がしています。ですから、保育の水準を下げないように、一番最初に受託した事業者と同じ水準で保育ができる事業者を選定してほしいと強く要望します。

(吹田市)

要望として受け止めるようにします。

(保護者)

今年度、決まらなかった場合は、来年度も引き続き募集するのですか。

(吹田市)

施設や児童数等により、委託に適している育成室を選定していますので、山一だけでなく、決まらなければまた引き続き募集をすることになります。保護者の皆様には説明会等の負担をかけることとなりますので、早期に優秀な事業者を見つけていきたいと思っています。

(保護者)

事業者が決まらなかった場合は、他の育成室が候補となることはないのですか。このよ

うな説明会が毎年のことになると、働いている中で参加している人や、小さい子どもがいる家庭等が負担になります。事業者が決まらないのであれば、他のところも候補として選定すれば、すぐ決まったりするかもしれないのではないですか。

(吹田市)

現在は、指導員の数かなり不足しており、事業者の力を借りていかなければ吹田市全体として事業の継続ができない状況ですので、委託を全て止めるということではできません。ただ、お話のように、何度、公募しても事業者が決まらないということになれば、現在の事業者決定の方法を根本的に見直さないといけないかもしれません。今回決まらなければ、そういったことを考えていく必要もあるかもしれません。

(保護者)

今年1年生の保護者です。1年生で育成室に入室し不安な中、指導員の先生が連絡帳で相談に乗ってもらったり、キャンプ等で保護者の皆さんのすごい力を見せていただきました。子供も生き生きと育っているのも、とても感謝しています。出来るなら、今の体制で運営してもらいたいという気持ちが強いです。なぜ、指導員の方が集まらないのかということをごどのように考えていますか。

(吹田市)

市の指導員は、保育士か教員免許を要件としています。現在は、保育士の需要が高く、保育士不足となっています。また、学校の先生も足りないという状況になっています。どちらも需要が高まっている中で、指導員の採用試験を実施しています。したがって、必要な人数がなかなか集まってこないというのが現状です。育成室の指導員の試験を受験する前に保育士や教員での採用が決まります。そういった状況では、優秀で誠実な者を指導員として選ぶとなると、新規採用が限られてしまいます。

それともう一つの理由として、指導員としての定着率が悪いことです。最近の若い人は、全般的に定着率が悪いとマスコミでも言われていますが、吹田の指導員はそれが著しいと感じています。なんとか定着率を改善していこうと思いい、例えば、仕事の悩みでストレスを抱えている指導員に対し、定年退職した公立保育園の園長等を非常勤職員（「スーパーバイザー」や「SV」といいます。）として放課後子ども育成課に配属し、各育成室を巡回して、そういった悩みを持った指導員に助言するという体制を確立しています。しかしながら、現状は、なかなか難しい状況です。

(保護者)

そんな中で、4年生まで年限を拡大してもらえることはありがたいと思っています。しかし、学年を拡大し、同時に民間委託をするということが、順序を含めてよくわからな

いのです。悩みの解決とかよりも、やはり処遇を改善しないと指導員が集まってこないのかなと思います。働きやすい環境を作ったり、変則的な時間を設けたりといったものに加えて、処遇についても、もう少し考えてもらいたいと思います。

また、保育園とは違い、山一が委託となると言っても、転校も出来ないのは、すごく不平等だと思います。スケジュールがタイトとうことで、引継ぎ保育が3月後半になるというやり方はどうかと思います。

(吹田市)

要望としていただきます。

(保護者)

直営の指導員体制も欠員の状態である中で、委託が決まらなかった際に、次年度も委託候補となるので、職員の配置が行われないのではないかという不安もあります。現在のしっかり見ていただいている指導員に引き続き見てもらいたいと思っています。また、今年度は、事業者の公募条件を所在が吹田市限定から、近隣の市町村に対象を拡大しました。先程、このまま山一が委託出来なければ、大きく枠組みを変えなければならないと言っていました。それは公募要件の緩和につながるのではないのでしょうか。これから、点数の低い事業者でもどんどんと任されていくことになるのではと心配です。私たちは育成室を選ぶことが出来ません。だから、今後のことも考えて、保護者に不安が無いように引継ぎ体制をきちんとしてもらいたいです。

(吹田市)

指導員の欠員は、山一にもあるのですが、全36育成室でも危機的状況といってもよい深刻な状態となっています。山一の欠員がこのままでいいとは思っていません。11月にも指導員の新規採用をする予定ですので、9月より募集をしていきます。育成室の委託計画が進んだとしても、直営の育成室もあるので、直営の指導員は確保していかなければなりません。現在、指導員の確保策として、今の指導員の資格要件に、児童福祉従事経験者を加え、対象を広げていくことを考えています。そうすることにより、少しでも、優秀な方を確保したいと考えているところです。

事業者の要件緩和というところで、株式会社の参加について懸念されているのではないかと思います。現時点では考えておらず、対象とはしていません。けれども、まったくその可能性が無いとは言えません。今回委託が進まなかったという場合は、来年度以降の可能性はゼロとは言えません。

(保護者)

それはあまり不安解消になる答弁では無いと思います。

(吹田市)

保育に参入している株式会社は多くなってきており、吹田市でも、株式会社がフルスペックの保育園を今年度から運営しています。また、小規模保育では、かなりの数の株式会社が参入してきています。ただし、そのような形で株式会社も保育の実績も積み上げつつありますが、まだ保護者の皆様に安心して頂けるほどでは無いと思っています。できれば、育成室の委託の事業者は、子どもたちにかかわる事業をしてきた社会福祉法人や学校法人に任せたいと思っています。

(保護者)

直営では、学級配置の指導員は、保育士資格などを所持していると思いますが、民間委託されたときにくる指導員も、保育士または教員の資格を持っているのですか。

(吹田市)

委託事業者には、そういった配置を求めています。

(保護者)

民間に委託したので、そこで採用されている人であれば資格を持っていなくてもよいということは無いのですか。

(吹田市)

国の基準があり、吹田市でもその基準に従って配置しています。委託の場合でも、その基準に沿って配置するようにしていきます。

(保護者)

国の基準ではなく、吹田市の基準は民間委託されても守られるのですか。

(吹田市)

吹田の場合でも、全員が資格を所持しているというわけではなく、基準に基づいて、有資格者の配置を行っています。そのうち、平成 20 年以前に採用された一部の者を除いて、指導員は全員資格を持っています。委託の事業者でも同様の基準に基づき、必ず 1 クラス 1 名は資格を所持しているものを置くようにしています。

(保護者)

吹田市は 1 クラス 1 名という基準ですか。

(吹田市)

そうなります。複数クラスあるところは1クラス1名、単数クラスのところは2名で運営しています。他は補助員となりますので、結果として資格を持ったものを採用する場合もありますが、資格所持が絶対にというわけではありません。

(保護者)

指導員が集まらないといいますが、補助員は足りているのですか。トータルとして何が足りないのですか。資格を持った指導員が足りないのですか。

(吹田市)

資格を持った指導員が足りていない状況です。

(保護者)

補助員がいれば、育成室の運営はできるのですか。

(吹田市)

補助員自体も不足しています。

(保護者)

補助員には資格が無くてもなれるのですか。

(吹田市)

なれます。

(保護者)

そういう形での募集をかけているのですか。

(吹田市)

そうです。ただし、資格を所持している補助員はいます。

(吹田市)

それでは、ここで、青山台と山三の、昨年1月から3月までの経過、1学期、夏休み等について、状況をお話ししたいと思います。

まず、アンケートの話ですが、確かに皆様がおっしゃるように、今年度から、直営から委託に変わった青山台、山三は、千里丘北とは違う回答になるであろうと我々も思っています。良い意見があるかどうか心配しています。送るのが遅くなったのですが、現在、

アンケートに協力をしてもらっており、現在のところ、3割程度、回答していただいています。良いという評価の意見もあつたり、去年の方が良かったという意見もあります。そういった意見を、きちんとまとめて、次回は提示するようにします。1年間経過したところは千里丘北しかありませんので、今回は参考にとりものとして提示しています。そのあたりは、ご理解いただければと思っています。

山三については、千里丘北と同じ社会福祉法人光聖会（吹田市内で蓮美幼児学園千里丘キンダスクールを運営）が委託事業者となりました。青山台は社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会（大阪市内で大宮保育園、吹田市内で児童館・高齢福祉施設シャロン千里を運営）が受託事業者となりました。

委託事業者は12月後半に決まりましたので（1月前半の誤りです、すみません。）、その後すぐに、まずは市と事業者とで、吹田の学童保育はどのようなことをやっているかというような、市と事業者で業務の説明（引継ぎ）を行いました。その中では、事業者といくつかの育成室の見学を行い、吹田の学童の雰囲気を実業者に伝えていくということも行いました。山三については、千里丘北で1年間のノウハウがあつたので、今回、見学は行いませんでした。1月後半まではそのようなかたちで、吹田市と事業者とで、育成室の保育等について、しっかりと意見交換を行いました。

その後、2月初旬からは、保護者の皆様、事業者、市とで懇談会を実施しました。保護者の皆様と事業者の顔合わせを行い、保育の方針や、保護者の皆様からの要望等について、意見の交換を行いました。懇談会の中では、おやつの話がありました。おやつ代等（その他の費用も含めて）で、いくら頂くかということになります。金額については、現在の状況（金額や追加徴収の有無、支払方法等）を踏まえた上で話し合い、保護者の皆様、事業者、市が合意し決定しました。そのような懇談会を2回2月中旬まで行いました。その後、急な日程となり、保護者の皆様にはご迷惑をかけてしまいました。3月に入ってから個人懇談を行っています。保護者・子どもと事業者が個別に懇談を行い、改めての顔合わせや、アレルギーの確認、好きな事等を話し合っています。個人懇談と同時並行して、育成室で子ども達との関係づくりのための、引継ぎ保育を行っています。市としては、10日間以上、そのうち半分以上は主任指導員が入ってくださいというように依頼していました。実際は、配慮を要する児童や、人見知り等により、関係づくりに時間がかかる子ども達もいたため、事業主の判断で10日以上、引継ぎ保育を実施しています。特に青山台の事業者については、今回が初めてなので、4月から円滑なスタートができるように、延べで20から30日間くらい行っています。ただし、1回にたくさんの人数が育成室に入ると、却って子ども達も混乱しますので、1回は2名までとし、引継ぎ保育を実施しました。市の担当者である私も、毎日ではありませんが、青山台を中心に、それぞれの育成室に入りながら状況を確認し、不十分と感じるところがあれば、その場で言う必要があると考えていました。特に配慮を要する児童については、別途、面談の時間を設定したり、保護者がお迎えに来た時に話をしたりしながら、手厚く引継ぎを行いました。

これまでの行事等の 1 年間のスケジュールや、流行っている遊びや人気のあるおやつ、下校のコース等について書類を作成し、その書類を基に、新旧の指導員間での引き継ぎもしっかりと行いました。

育成室の保育の中で、昨年度と異なる点としては、宿題に対する取り組み方です。宿題に対する保護者の皆様から要望は多く、直営の育成室でも、宿題の取り組みは行っています。「宿題をしようと思う人は、しましょう。宿題をしない人は、している人の邪魔をしないようにしましょう。」というような感じです。一方、委託の方では、少し異なっています。「まず、宿題をしようね。宿題が終わってから、遊んだりおやつを食べたり、次の事をしようね。」というような感じです。ただし、家庭で宿題は見たいという保護者の意見や、学校の授業でかなり疲れており、いきなり宿題をする気分ではない子ども達もいます。したがって、宿題をすることの強制はしていません。「みんなで宿題をしよう」や、「みんな頑張っているから、これだけ頑張ろうね」というような、みんなで宿題をする雰囲気、環境作りを心掛けています。その他は、今の直営のやり方を参考にしているので、大きく変わりはないと思います。

市の担当者である私も、特に 4 月当初は不安なところもありましたので、初めての事業者である青山台を中心に、育成室の巡回をするようにしていました。午前中は青山台にいて、その後、山三・千里丘北を巡回するというように、4 月当初は市役所の自分の職場に戻らない方法もとっていました。日が進むにつれて、巡回の回数や時間も減らしていきましたが、保護者の方と直接話をする中で、委託になったから悪くなったというような話は聞いていません。

現在お願いしているアンケートでは、厳しい意見もあると思っていますが、そういった回答があれば、しっかりと事業者と話をし、改善していかなければならないと思っています。

(保護者)

アンケートの内容ですが、宿題とそろばんを同じくくりにして、学習活動についての設問となっていますが、このことから、そろばんにすごく力を入れていると感じています。そろばんもよい活動と思いますが、そろばんをすることによって、代わりに何ができなくなっているのかということ保護者としては聞きたいです。そろばんにどれだけの時間を割き、これまでの学童で行っていたことの、何をしなくなったのかがわからないと、そろばんをしたいかどうかはわかりません。そういったことがわからないままで、「そろばんはどうですか?」と聞かれば、「良いですよ」となると思います。だから、このアンケートでは、育成室の内容がどのように変わるのか、どのように継続されるのか、水準がどうなのかといったそこが一番気になります。

(吹田市)

これまでの説明会で、「宿題とそろばんを一緒にすることは項目の設定として問題があるのではないか。」という指摘をいただいています。このアンケートについては、担当者として私が中心に考えているのですが、この項目の意図としては、これまでの育成室では、宿題について、「宿題をしようと思う人はしようね。」としていました。一方、委託育成室では、「まず、みんなで宿題をやりましょう。」というように、取り組み方が異なっていますので、同じ項目として設定しました。けれども、先ほどのような指摘も受けていますので、今回、お願いしているアンケートについては、宿題の取り組みと、事業者独自の学習等のプログラムは分けて考えています。今後も、そういったご意見をいただきながら、保護者の皆様の考えに合ったアンケートにしていきたいと思っています。

(吹田市)

千里丘北については、あくまでも仕様書に基づき、これまでの保育の水準を保った上で、事業者独自の活動として、そろばんの取り組みを長期休みを中心に行っています。アンケートについては、宿題についての考えを含め、そのような事業者独自の取り組みについてどう思いますか、ということ聞いたものです。事業者に聞いたところ、一日保育時の長い時間中、遊びばかりでは、子ども達がだらけてくるので、子ども達の目先を変え集中を切らさずに過ごすことができるための取り組みとして実施したものということでした。

では、授業がある時期については、どのように取り組んでいるのかということですが、保護者の方や事業者も、引き続き取り組みたいというところでしたが、宿題に時間が取られますので、希望する児童には15分～20分くらいの時間だけ行っています。学校から帰ってきて、宿題をして、その後ずっと、そろばんをしているのではなく、遊びの時間・おやつ時間も確保して、その中で子供の目先を変える・興味を変えるという意味でそろばんを導入しているというところです。

(保護者)

山三に知り合いがいるのですが、そろばんに取り組むと言っていますが、結局、夏休みもしておらず、2学期からになるというのを聞いていましたが、なかなか始まらないようです。また、デイキャンプの取り組み時に、絞り染めTシャツを作り、みんなで着ていこうと思っていましたが、キャンプの前日に染めたため、当日は着てくことができなかったと言っていました。取り組もうとしていることはわかりますが、直営でやっている良いところ、3年間かけて3年生を中心まとまるとか、保護者会と繋がりを持つとか、そういうところが大事だと思いますが、委託になると、そのようなところが伝わりにくいのではないかと考えています。

(吹田市)

デイキャンプについては、あまり長い時間ではなかったのですが、見に行っています。

絞り染め T シャツを全員が着ていたかどうかまでは、確認していませんでしたが、ほとんどの児童は、同じ絞り染め T シャツをきていたと思っています。

(保護者)

知り合いから聞いたのは、本来は、事前に洗って干してということは何回もして、デイキャンプに着ていけるように準備するのですが、今回は前日に洗っていたということです。日程調整が上手くいかなかったので、前日によやくしたが、着ていけるようなきれいな状態には出来ていなかったと聞いています。

(吹田市)

絞り染めについては、昨年、市の担当者とともに山二育成室に行き、指導員から手順を聞きました。千里丘北の1年目には出来なかったのですが、今年は山三に千里丘北から1名指導員がきているので、絞り染めをしようということになりました。今後、手順についても、きちんとできるように考えていきたいと思っています。

(保護者)

直営の育成室にも市の職員は見に行っているのですか。

(吹田市)

直営の育成室については、公立保育園の園長等の経験者で、定年退職した保育士を非常勤職員(「スーパーバイザー」や「SV」といいます。)として放課後子ども育成課に配属し、各育成室を巡回しながら、保育のアドバイス等の助言を行っています。直営育成室には、仕様書が守られているかどうかといったようなものはありませんので、保育のアドバイスを目的が主となり巡回しています。委託の方については、直営の方と同様、保育のアドバイスに加えて、指導員の配置など、事務的な部分で仕様書が守られているかも確認する必要があります。また、事業者の責任者とも話をしていく必要もあるため、SVに加わって、事務職の職員も巡回しています。

(保護者)

市の担当職員の方はどのくらい直営育成室を見に行かれるのですか。

(吹田市)

直営育成室は数が多いので、回数は少なくなってしまうのですが、職員が回るようにはしています。例えば、施設整備の担当であれば、ちょっとした修繕であれば、担当者が現場で直してしまいますので、担当者の仕事の進め方によって多少の差はありますが、よく回っていると思います。けれども、直営の育成室に対し、市の職員が直接回らないと様子が

わからないのかと言えば、そうではありません。SVは育成室を巡回した場合は、報告書を上げるようにしていますので、それをチェックして問題があるところについては、事務職員が様子を見に行くようにしています。

(保護者)

全部の育成室を回っているのですか。委託に変わったところを回っているという話は聞いていますが、直営の育成室の様子を知らなくて、委託育成室のみを見に行っても、違いが判らないと思います。育成室の現場をよく行っている人でなければ、気付かないことがいろいろあると思いますので、普段から育成室の現場を見に行っていて、状況をよく知っている方が、委託育成室を担当してほしいと思います。

(吹田市)

現在は、私が中心に委託育成室の担当をしています。私が担当になった理由としては、現在、この課に配属されて9年目になります。以前は営繕の担当をしたり、配慮の必要な児童に対する巡回相談に同行する担当をしていました。現在、放課後子ども育成課に配属されている職員の中では、育成室の現状を一番把握しているので、現在、委託育成室の担当をしています。過去の経験や、今でも直営の育成室にも行っていますので、直営と委託を比較でき、「直営ではこのようにしています。」という話が委託育成室でできます。

(保護者)

山三・青山台の児童数・クラス数・保育士免許を持っている指導員数・補助員数の割合を教えてください。

(吹田市)

山三については、41名の入室児童がいます。1クラス40名定員ですので、ぎりぎり2クラスとなります。指導員数については、配慮の必要な児童が1名いますので、合計5名となっています。基本的には固定勤務で、毎日同じ者が勤務しています。保育士・教員免許の割合はここでは覚えていませんが、主任指導員を含め資格を持っているものが4名、持っていない者が1名となります。

青山台育成室について、24～25名くらいの児童数です。配慮の必要な児童が3名いますので指導員は5名おいます。その中で主任指導員1名、資格を持っているものが3名程度います。毎日、5名の必要数を6～7名が交代で勤務します。そのうち、2名は毎日勤務する者です。

それぞれの育成室で、毎日勤務する主任指導員は、フルタイムの雇用であり、午前中はそれぞれ事業者の施設で勤務して、午後1時になったら育成室で勤務する形態をとっています。

(保護者)

次回でいいのでその資料はもらえますか。その資料を見て指導員の数や有資格者の要望を出したいと思っています。

(吹田市)

人数等、先程説明した程度の内容のものは次回お渡しすることはできます。ただし、指導員の基準等は仕様書等で定めていますので、ご要望として伺うこととなります。

(保護者)

1年生の保護者です。うちの子どもは、藤白台保育園の民営化で担当課の方と話しをする機会が毎年ありました。この説明会は、説明会という名の説得会というのが私の印象です。計画ありきで物事が進んでいるという状況で、民営化の話と民間委託の話は違うという意見もあるかと思いますが、本来計画を進めしていくというならば、1年間民間委託をしたところの総括をしてから、次のところを進めるというのが本来の流れだと思います。その総括も出来ていない中で、計画日程が決まっており、その計画に沿って進めていくというところがまず理解できません。僕は民間委託には否定的なので、ややこしい保護者になるとと思いますが、保育園の場合は、引継ぎに1年間必要ということになっています。子ども達は、点で成長していくのではなく線で成長していきますので、四季折々の子ども達の成長を見て、やっと引継ぎが成功しているかどうかの判断ができるようになります。そういうところは、小学校に入っても同じだと思いますので、今回、引継ぎを3月上旬からやるといっても、1か月しかありませんので、そこには不安を覚えます。

あと、僕は社会福祉法人で働いているのですが、民間に委託したら人材を確保出来るかといったら、それは大きな間違いです。わかっているとは思いますが、民間でも保育士を集めることは大変ですし、その背景には、何年間か吹田市が新規採用を止めていたことがあります。その影響やしわ寄せが子ども達にいつていることが、保護者として納得できません。吹田市では、本庁の職員の非正規率もだいぶ上がってきているという状況があると思います。したがって、なかなか学童の方にまで職員が回せないということもわかるのですが、市民の考え方からすれば、新規採用を止めて下さいなんて一言も言っていないし、前市長は財政非常事態宣言と言い、今の市長は財政は健全だというようなことを言ったりとややこしいです。そのことによって、子ども達が振り回されているような現実があります。そこをどのように説明されるのですか。担当課の皆さんは、保護者を含む市民の意見を聞き、それに対して予算化したり、施設の整備したりすることが、仕事だと思っています。上席の職員から言われたり、議会から言われたりと、このように説明することは、つらい立場だということもわかるのですが、前会長が言っていたように、アンケートを色々出したが、それが反映されていないということであれば、まさしく、これは計画通りに、

なし崩し的に 3 月を迎えるというのが僕の率直な意見です。丁寧にとかいいながら、本当に丁寧な説明なのか、僕たちは大人ですから解釈していきますが、子ども達にはそのあたりもっと丁寧さが必要ではないかと思っています。

(吹田市)

引継ぎ期間が短いのではないかとご指摘はいただいています。引き継ぎ期間については、期間を長く取ればとるほうが良いとは思いますが、ただ、保育園の方がそれだけ長い期間を設けているというのは、保育園の方は委託ではなくて、保育園自体が市のもので無くなってしまふ、事業者に完全に譲渡してしまうというものですので、そのあたりが、育成室の民間委託とは違うのかなと思っており、そのため、引継ぎの期間にも違いが生じているということです。

(保護者)

絶対そういう答えが返ってくると思っていたのですが、それは違うと思います。実際に子ども達は、点ではなく、線で成長していきます。そこをきちんと見ないと、民営化や民間委託というのも、勝手な市の話ではないですか。子ども達には何の関係もありません。その説明では不十分です。

(吹田市)

お叱りをかけてしまうかもしれませんが、子ども達にとって、大きなポジションを占めるのは小学校だと思います。学校教育の中で子ども達は成長していくと思っています。その一環として、育成室の事業が保護者の方の就労支援の事業となっています。児童の健全育成事業を否定している訳ではないのですが、この事業で1年間の引継ぎが必要である、とはならないと考えています。

(保護者)

保育も就労支援ですよ、要保育という第一種社会福祉事業ですよ。親の就労を保障している事業ですよ。

(吹田市)

保育園は、朝7時から夜の7時までとなり、非常に長い時間ですので、子どもの様子も慎重に慎重を重ね、しっかり見ていかななくてはいけないと思います。また、脆弱な幼児保育ですので、それなりの対応が必要であると思います。

(吹田市)

私からも一つ、先程の質問に対して、直球で返すのであれば、市議会に対して、計画を

提出し、この計画を実行させていただきたい審議をお願いします。保護者の皆様に対しては、ご不安なことはあるでしょうけれども、民間委託の計画については、この形で行きたいと思っています。先程おっしゃられていたような説明会という名の説得会に対し、否定はできないかもしれません。説得をして、納得していただくために、不安な点・不明な点を聞いて、出来る限りお答えをしていくということは約束します。この姿勢はご理解いただきたいと思っています。また、ご要望があれば、全員という訳にはいきませんが、山三等の委託をしている育成室に数名の代表の方で見学していただくこともしていきたいと考えています。対処療法的になるかもしれませんが、みなさんが心配されている点を一つずつ潰していくということが、今、我々に出来る精一杯であります。先程、言われました点でなく線で見るという点からいえば、引継ぎ保育を3月と言っていますが、少しでも早く行い、児童にとってスムーズな引継ぎが出来るようにしたいと思っています。そういった気持ちで、次回の説明会では、皆様が言われています、資料も含めアンケート結果も持ってきます。

冒頭でおっしゃられた、「去年の反省が無いのではないか。」「違う資料を持ってこれたのではないか。」ということにつきましては、返す言葉もありません。ただ、一つ言わせていただくと、本日まで日がありましたので、我々が資料をお見せした段階で、「これも欲しい」と言っただけであれば、お持ちできたかと思えます。そういうことも含め、入り口の段階ではなく、もっと中身の話をこれからさせていただきたいと思っています。向いている方向は子ども達の方であるというのはわかって頂いているかと思えます。一定のご理解もいただいているかと思えますので、ぜひ、お願いしたいというのが正直な感想であります。

(保護者)

では、やっぱり説得会ということになりますよね。よく市のやり方で、ちょっとしゃべっただけで「ちゃんと説明しましたよ」というやり方がありますよね。これも僕は納得いきません。保育園の時も同じで、「ちゃんと説明しました。」と言って、2回ぐらいの説明会では、ちゃんと出来ていないじゃないですか。本来、計画は1年間見てどうですかとなるのが普通ですよ。まあ、説得されるのでしょうか、そうであれば、意見はたくさん言ったほうが良いと思っています。中身云々といわれましたけれど、中身のまえのところをもう少し説明してほしいです。

(保護者)

先程、資料のことを言っていただきましたが、今回、資料は当初、当日配布の予定だったのですが、会長には先に渡してほしいということで、会長にだけ先に送ってもらいました。やはり1度目を通しておかないと、当日質問が出ないと思い、お盆の関係で日程も厳しいので至急お願いして、これだけ頂いたという状況でした。本当であれば、事前に聞き

たい中身などを整理して、もう少し多くの方の意見や、出席できない方の意見も持ってきたかったのですが、この時期に一回目の説明会があること自体がとても厳しいです。

(保護者)

次回の日程がこれから決まると思うのですが、もらいたい資料や質問を事前に渡しておけば、次回に回答してもらえますか。

(吹田市)

質問等については、市の方に電話・ファックスで頂ければ回答します。

(保護者)

保護者会を通してではなく、個人的に連絡してもいいですか。

(吹田市)

できればまとめていただきたいですが、個別でも対応します。

(保護者)

公募の時期がなぜ10月なのですか。

(吹田市)

委託をしていくというためには、予算請求をしないと行けません。それを、9月議会で提案するために10月公募となります。

(保護者)

10月に公募するというので、仕様書はまだ決定していませんが、決定する前に最低1回は保護者の意見を聴く機会は設けてもらえますか。

(吹田市)

日程調整はこれからですが、9月末ごろには行いたいと思っています。

(保護者)

9月末に保護者の意見を聞いて、10月の公募開始までに仕様書に盛り込んでその内容を保護者に知らせてもらえますか。

(吹田市)

それはするようにします。また、公募期間中であってもどのような事業者を選んでほし

いというようなご要望があれば、必要に応じて説明会をします。

(保護者)

日程ですが、9月の上旬ではだめでしょうか。9月下旬説明で10月公募開始というスケジュールがタイトではありませんか。

(吹田市)

10月上旬には公募していきたいと思っています。事業者がたくさん集まりそうであるならば、競合となり、選定事業者のレベルがより上がりますので、公募期間を少しでも持ちたいという意味ですので、皆さんの意見を聞かないという訳ではありません。

(保護者)

公募期間は10月でも少ないと思いますが。

(吹田市)

後の準備等、受け入れの関係もありますのでその時期になります。

(吹田市)

本日は遅い時間までありがとうございました。市としてもこの事業が充実していくようにしたいと思っていますので、ご協力宜しく願います。本日はありがとうございました。